

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA） 法務・知的財産部会（意匠タスクフォース）の 活動について

一般社団法人電子情報技術産業協会 法務・知的財産部会 意匠タスクフォース 主査 村上加奈子
(所属：三菱電機株式会社 知的財産センター)

◇ 一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）の紹介

1) 設立経緯

電子情報技術産業協会（以下、JEITA）は、1948年に設立された「無線通信機械工業会」（後に「日本電子機械工業会（EIAJ）」に改称）と、1958年に設立された「日本電子工業振興協会（JEIDA）」の2つの協会が2000年に統合して発足した。

当協会は、電子機器産業、電子部品産業、ITソリューションサービス産業及びこれらの技術を活用して新たな付加価値を創出・拡大する全ての産業（電子情報技術産業）の総合的な発展に資し、それにより我が国経済の発展と文化の興隆に寄与することを目的とした事業活動を行っている。

2020年12月10日時点での会員数は、正会員342社・団体、賛助会員42社・団体の合計384社・団体に上る、我が国最大級の業界団体である。

2) 組織概要

上述の目的に基づき、当協会では、2020年度は、「Society 5.0の推進」の基本方針の下、

- ① データの連携・利活用の推進
- ② デジタル関連投資の促進
- ③ オープンコミュニケーションの推進
- ④ 事業環境整備
- ⑤ SDGsへの対応
- ⑥ 情報発信の強化／情報化の推進

という6つの柱を中心として、

- ・ Society 5.0の実現に向けた政策提言
- ・ 幅広い製品分野の動向をタイムリーに把握するための調査統計事業
- ・ 社会的要請や産業界における共通課題の解決に向けた取り組み
- ・ 共創と競争によるイノベーションを促し、新たな市場を生み出すための事業

● 図1 JEITAホームページ

